

# 佐賀県有明水産振興センター 要覧

Saga Prefectural Ariake Fisheries Research & Development Center (SAFREDEC)



〒849-0313 佐賀県小城市芦刈町永田 2753-2

電話:0952-66-2000 ファックス:0952-66-4443

代表メール [ariakesenta@pref.saga.lg.jp](mailto:ariakesenta@pref.saga.lg.jp)

HP <http://www.pref.saga.lg.jp/web/list02481.html>

# 有明海の豊かな生産力の維持と魅力ある水産業を実現するために、

## 試験・研究によって技術を開発し、その普及に努めます。

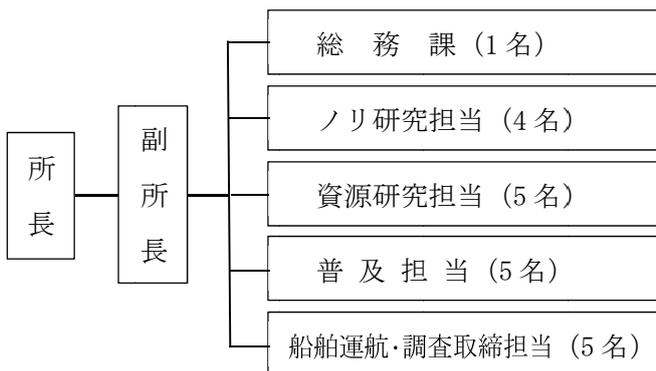
### 沿革

1911年(M44) 4月	佐賀県水産試験場有明出張所として現鹿島市浜町に設置。
1938年(S13) 4月	現鹿島市浜町に新築移転。
1951年(S26) 7月	佐賀県水産試験場有明分場と改称。
1956年(S31) 5月	太良町道越にノリ人工採苗場設置。
1962年(S37) 8月	佐賀県養殖試験場として独立。ノリ人工採苗場を大浦分場と改称。 川副町犬井道に川副分室を設置。
1969年(S44) 12月	大浦分場を廃止。
1973年(S48) 11月	現小城市芦刈町に新築移転。佐賀県有明水産試験場と改称。川副分室を廃止。
1986年(S61) 3月	研究棟を新設。
1992年(H 4) 4月	佐賀県有明水産振興センターと改称。
1993年(H 5) 1月	ノリ品種開発実験棟を新設。
2001年(H13) 4月	資源研究室を配置。
2002年(H14) 3月	貝類研究棟，水産展示館を新設。
2004年(H16) 4月	現在の課名，担当名に変更。
2012年(H24) 4月	船舶運航・調査取締担当を配置。

取締船 ありあけ  
9.7 t



### 組織



調査船 かもめ  
4.2 t



調査船 ちどり  
2.3 t



### 有明海の特徴

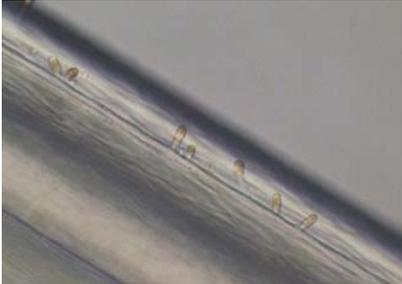
有明海は福岡，佐賀，長崎および熊本の4県に囲まれ，総面積1,700km<sup>2</sup>の内湾です。本県海域は，その湾奥の北西に位置し，海岸線延長は97 km，面積415 km<sup>2</sup>の浅海域となっており，干満差は国内で最大の6 mに及び，最大干潮時には干潟が97 km<sup>2</sup>になります。有明海には筑後川，六角川をはじめ大小の河川が流入し，豊富な栄養を供給しています。そのため，日本一のノリ養殖が営まれ，漁業生産の高い漁場が形成されるとともに干潟を中心に貴重な生物が生息しています。また，地域の生活や文化は，有明海がもたらす豊富な恵みに支えられています。

## 業務の概要

### ノリ養殖

生産安定のための新品種開発、アカグサレ病・壺状菌病等の病害対策技術開発、おいしい海苔作りのための品質向上技術開発を行っています。また、ノリ漁期には漁場の栄養塩、病害等の調査を行い、講習会等を開催するとともにノリ養殖情報を提供し、養殖管理の技術指導を行っています。

#### ノリの品種開発



顕微鏡で見たノリ芽



ノリ糸状体の培養

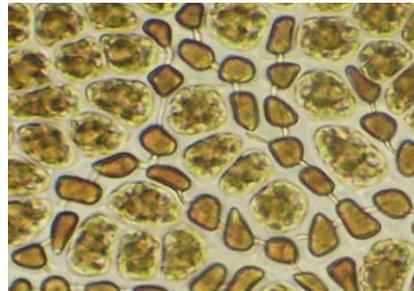


ノリの培養試験

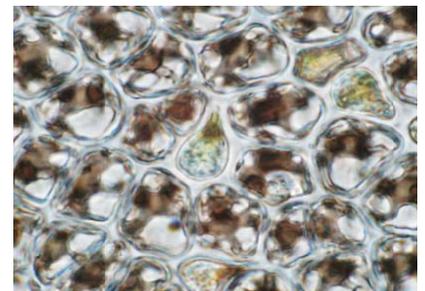
#### ノリの養殖と病害調査



病害調査



顕微鏡で見た病原菌（アカグサレ菌）



顕微鏡で見た病原菌（壺状菌）

### 特産貝類の増養殖

有明海の特産貝類であるタイラギ、アゲマキ、アサリの資源回復のため、種苗生産・放流技術の開発、資源調査を行っています。

#### タイラギ関係試験



タイラギ育成試験

#### アゲマキ関係試験



アゲマキ稚貝の放流

#### アサリ関係試験



アサリ漁場への被覆網設置



タイラギ潜水調査



アゲマキ成貝の取上げ



アサリ粹取り調査

## 栽培漁業、資源管理型漁業

ガザミ、クルマエビ等の種苗放流や資源管理による資源の維持、増大を図るため、放流技術の開発、漁獲物調査等を行っています。

### ガザミ・クルマエビと調査



漁獲されたクルマエビ



クルマエビの放流



放流クルマエビの追跡調査



漁獲されたガザミ



放流サイズのガザミ



ガザミの放流

## 漁場環境調査

有明海の漁場環境を把握するため、水質、底質、底生生物、赤潮・貝毒プランクトンの発生状況を調査し、データの蓄積を行うとともに、情報の提供を行っています。

### 観測塔と調査



海況自動観測塔



観測機器による調査



海水中の栄養塩類の分析



プランクトンの種類、数の把握



アステリオネラ (色落ち原因珪藻)



ユーカンピア (色落ち原因珪藻)

## 水産業改良普及

増養殖等の技術普及・技術支援を中心に、有明海漁協青年部、漁協女性部等活動の支援指導、漁業後継者の育成等を行っています。

### カキ殻糸状体培養指導、青年部への指導等



ノリ養殖指導



高等水産講習所研修生への講習



カキ殻糸状体培養指導



サルボウ付着稚貝調査



魚病検査



内水面養殖指導（スッポン）

## 漁業取締

水産資源の保護と漁業秩序の維持を図るため、関係法令等に基づき漁業取締を行っています。

### 漁業秩序を維持するための活動



操業状況の確認



関係機関との情報交換



海上での指導・啓発活動

## 水産展示館

有明海に生息する生き物や自然環境、有明海で営まれている水産業等を広く理解していただくため、有明海ならではの漁具・漁法、水産生物等を展示し、DVDで「有明海の生きものたち」を紹介しています。

### 展示館の全景と展示物



# 施設の配置とアクセス



交通 JR 長崎本線牛津駅下車 ⇒ タクシーで約15分

2017年8月作成